

メータオ・クリニック支援の会(JAM)支援者の皆様

いつもご支援いただき誠にありがとうございます。

JAM 会報メール第3号をお送りします。

JAM は 2008 年 3 月に発足された NGO です。

ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へ JAM の最新の活動を会報メールにて毎月発信させていただきたいと思ひます。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

メニュー

- 最新メータオニュース
- きょうのゆめ
- ミャンマー／ビルマの文化通信

■ 最新のメータオニュース

11月上旬、メータオ・クリニックの患者さんのための全面的に食事の配給を行っているタイの NGO、TBBC(Thailand Burma Border Consortium:タイ・ビルマ国境援助協会)が、来年度より食事の全面配給をストップすることを発表しました。TBBC は TBBC 自身の資金集めが不足していること、食料の高騰化等を食事配給の停止の理由としてあげています。メータオ・クリニックでは無料診療とともに、全患者さんの食事の無料配給を行っています。この来年度からの TBBC による食事の配給ストップに対し、メータオ・クリニックは他のドナーによる支援金で代替して食事配給費のカバーをする等対応策を現在検討中です。

メータオ・クリニックでは29校のミャンマー／ビルマの自治移民のための孤児院(2008年6月時点で孤児数は2580名)の募金活動及び食事の配給(主に米、豆等の乾燥食品)を行っています。このメータオ・クリニックへ食事配給のストップが孤児院の食事配給へ影響するのではないかと懸念されており、孤児院の食事配給に対しても今後の方針を現在検討中です。

■ きょうのゆめ

クリニックでは学校保健活動を中心に 54 校のマイグランドスクール(ビルマ人の移民学校)を運営・管理しています。JAM の活動のひとつとしてそれらの学校を対象とした学校保健の活動を行っています。現地のスタッフがそれらの学校を訪れ、そこで勉強している子どもたちの声を毎月発信していきたいと思ひます。

今月はグッド・モーニング (Good Morning)と呼ばれる幼稚園に通うユワレちゃん4歳。メソットの町の中心近くに建てられているその学校には小学校、幼稚園があります。生徒数は50名です。



左写真：小学校と幼稚園
右写真：学校保健チームによる体重測定を待つ生徒たち。

そこでお父さん、お母さんとともに家族3人で学校近くに暮らすユワレちゃん4歳。お父さんは建築の職人としてメソットの町で働き、お母さんは家で家事をしています。

そんなユワレちゃんに大きくなったら何になりたいか、夢は何かと現地スタッフがインタビューしました。すると恥ずかしながら小さな声で「お父さん、お母さんのお手伝いができるように早く大きくなりたい」と答えてくれました。最近幼稚園に行き始めたばかりだそうで、友達、先生と話すことが一番楽しいと笑顔で答えてくれました。



■ ミャンマー／ビルマの文化通信－タナカー



上写真：タナカを塗った子どもたち

みなさん、タナカというミャンマー／ビルマの化粧品をご存知でしょうか。タナカという木の樹皮から作られる黄色の粉です。きょうのゆめでご紹介したユワレちゃんも顔にタナカを塗っています。タナカは肌を守る作用があると言われておりミャンマー／ビルマの間では日焼け予防やファッションに近い感覚で主に女性と子どもが顔にタナカを塗っています。

クリニックの中、またメソットの人口の70%以上がミャンマー／ビルマの方なので、メソットの町でも黄色の粉、タナカを塗った人をたくさんみかけます。メソットの市場ではタナカがたくさん売られています。日焼け予防のためのタナカ、皆さんも一度お試してみたいかがでしょうか。



メータオ・クリニック支援の会

Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM)

日本事務局宛て E メール: question@japanmaetao.org

ホームページアドレス: www.japanmaetao.org

